

R6年度 医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する計画

医療従事者の勤務状況等

令和6年4月1日現在の医療従事者の勤務状況

- ・医療従事者数 常勤 776名 非常勤 77名
- ・週平均勤務時間 38.75時間（常勤）
5.81時間（非常勤）

医療従事者負担軽減のための取組

- ・外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携等の外来縮小の取組み
- ・NCD登録を事務へ移行することによる医師の事務作業の負担軽減
- ・医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の事務作業の負担軽減
- ・看護職員夜間配置加算並びに急性期看護補助体制加算算定による看護職員の夜間勤務の負担軽減
- ・院内保育所の利用者増を目的とした設備や行事の充実
- ・産休・育休制度の充実
- ・宿直翌日午後の勤務免除制度
- ・宿日直体制から交代制勤務以降を目的とした人員の採用
- ・育児短時間制度等を活用した短時間正規雇用医師の活用。
- ・働き方改革における医師、医療技術職のシフト化
- ・医師のシフト化に伴うシフト作成等を総務課へ移行し事務作業の負担軽減

医療従事者の負担軽減及び処遇改善につながったかの評価体制

- ・医療従事者の負担軽減及び処遇改善に係る責任者（診療業務等役割分担推進委員会委員長）として 中尾 光成 診療局次長 が就任
- ・責任者の下、診療業務等役割分担推進委員会（診療局、看護局、医療技術局、事務局）を組織し、年1回、計画の達成状況の評価及び計画見直しを行う

医療従事者の負担軽減及び処遇改善に係る目標及び達成度の評価

項目	現状（R6. 4. 1現在）	必要な対処（取り組み内容）	項目	R6年度目標
15対1医師事務作業補助体制加算の維持	医師事務作業補助者数 34名在籍 令和5年度1日平均外来患者数 700人	入院患者の増加及び地域連携の強化による収益の増加（医師事務作業補助者の給与1人当たり年間210万円程度確保するため）	医師事務作業補助者数	39名
紹介及び逆紹介率の上昇	令和5年度（平均） 紹介率 逆紹介率	地域医療機関との連携強化、かかりつけ医制度の周知等	1日平均外来患者数	810人/日
			紹介率	80%
院内保育所の設置	24時間保育（週2日）・土曜日保育（隔週）の実施	現状の継続又は必要に応じた見直し	逆紹介率	104.9%
育児制度（短時間勤務）の活用	育児部分休業 9人 育児短時間 4人	育児部分休業・短時間制度の活用 出生時育児休業の促進	体制の維持	体制の維持
			制度活用	活用促進

医療従事者負担軽減の評価尺度

項目	R6年度目標	達成度
超過勤務時間	3時間/人/週	
月平均当直回数	2.0回	

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善

項目	現状（R6.4.1）	必要な対処	項目	R6年度目標
急性期看護補助体制加算算定による看護職員の夜間勤務の負担軽減	看護補助者 54人在籍 （うち派遣職員19人）	派遣職員の直雇用化による人件費の削減	看護補助者数	60名
院内保育所の設置	24時間保育（週2日）・土曜日保育（隔週）の実施	現状の継続又は必要に応じた見直し	体制の維持	体制の維持
育児制度（短時間勤務）の活用	育児部分休業 21人 育児短時間 13人	育児部分休業・短時間制度の活用 出生時育児休業の促進	制度活用	活用促進

看護師の負担軽減の評価尺度

項目	R6年度目標
超過勤務時間	3時間/人/週
月平均当直回数	2.0回